

# 令和5年度 教育行政点検評価報告書（案）

## 《令和4年度 取組事業概要》

伊賀市教育行政評価委員会

## 令和5年度 伊賀市教育委員会の点検及び評価の概要

### 1. 経過及び目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、議会に提出するとともに公表しなければならない。」となっています。

教育委員会は、この法律に基づき、教育に関する施策について点検及び評価を行い、課題や取組みの方向性を明らかにすることにより、教育行政を効率的に進めるとともに、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進することを目的とします。

### 2. 点検・評価の方法

令和5年度教育行政評価は、伊賀市総合計画の教育関連施策や教育委員会が策定した、令和4年度教育方針に掲載し実施した施策や事業・業務を対象としました。

点検・評価については、事業担当課が作成した令和4年度実績による事務事業評価シート及びヒアリング、その他資料に基づき行いました。

点検及び評価の内容は次のとおりです。

### 3. 総評

(前年度)社会情勢が大きく変化をする中、改めて各事業の分析を行い、既成の枠にとらわれることなく実態に即した事業推進により、教育内容及び教育環境の更なる充実を図るよう努められたい。

#### 教育行政評価委員

氏名	所属・職名等	所属・職名等
委員長 藤本 久司	元三重大学人文学部准教授	
副委員長 加納 圭子	元学校教育課長、元中学校長	
委員 伊室 春利	元伊賀市教育委員会事務局職員	
委員 西嶋 克司	文化財保護指導委員	
委員 岡山恵美子	元図書館協議会委員	
委員 岡山 幹治	青少年健全育成市民連絡会議副会長	

#### 事業担当課ごとの点検・評価対象事業数

担当課	教育総務課 学校施設室	学校教育課 (給食センター)	生涯学習課 (中央公民館)	教育集会所
事業数	7	13	4	1
担当課	文化財課	図書館		計
事業数	9	7		41

#### 教育行政評価委員会の開催状況

日時	場所	内容
7月12日 13:50~17:00	伊賀市役所 庁議室	*評価方法及び評価対象事業の確認 *評価対象事業の説明
9月4日 10:00~12:00	伊賀市役所 405会議室	*評価対象事業の評価・意見等の調整
10月5日 10:00~	伊賀市役所 庁議室	*教育行政点検評価報告書の内容確認

努力目標評価シート

教育総務課・学校施設室

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和4年度の取組内容)	指 標		方向性
				令和4年度実績値	令和4年度目標値	
子どもたちが、安心して学べる	1	校区再編事業の推進	上野南部地区小学校再編計画 * 令和5年4月の上野南小学校開校に向けて、依那古小学校、神戸小学校、比叡小学校の統合協議を行い、校歌、校章の作成、児童の通学方法等の検討した。また、校舎改修工事(建築、電気設備、機械設備等)及び備品整備等を行った。 R4年度中 検討協議会を2回開催(計8回)した。	進捗率100%	進捗率100%	完了
	2	学校(園)施設の整備充実	緑ヶ丘中学校大規模改造 * 普通教室棟 内部建具改修工事を行った。	進捗率100%	進捗率100%	完了
		久米小学校施設改修工事	* 屋内運動場 大規模改造工事を行った。	進捗率100%	進捗率100%	完了
		学校施設非構造部材耐震点検	* 非構造部材の危険性を把握するため、劣化状況や取付工法などの確認を行った。	進捗率100%	進捗率100%	完了
	3	GIGAスクール構想の推進	GIGA端末保守サポート業務 * 国が進めるGIGAスクール構想に対応するため小中学校に整備した学習用端末、ソフトウェア、モバイルWi-Fiルーターを活用し学習支援を行った。	進捗率100%	進捗率100%	継続
4	修学の支援等	奨学金支給 * 高等教育機関での教育機会を支援し、社会に貢献する人材を育成するため、奨学金を希望する高校生及び大学生等に支給した。 伊賀市奨学金：(新規)31人(継続)61人 伊賀市同和奨学金：(新規)18人(継続)13人 伊賀市ササユリ奨学金(新規)2人(継続)6人	伊賀市・同和奨学金の中退者を除く受給率100%	伊賀市・同和奨学金の中退者を除く受給率100%	改善	
	中学校クラブ遠征参加補助	* 三重県中学校体育連盟等が主催する体育大会及び三重県中学校吹奏楽連盟等が主催する文化行事への参加旅費を補助し、部活動の推進を図った。 体育大会参加校 10校 文化行事参加校 7校	参加者負担に対する補助割合100%	参加者負担に対する補助割合90%	継続	

努力目標	令和4年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価に対する今後の対応
1	校区再編事業の推進 ○スクールバスの運行について、引き続き、安全面に配慮した中で、より一層の見守り、点呼、降車等の確認を従事者への浸透を望む。	
2	学校施設整備事業等の推進 ○業務量が多い中での学校施設整備の努力を評価する。トイレの洋式化は多目的トイレの整備と併せて時代的要請であり、今後全ての小中学校への展開を望む。 ○今後も教育環境の整備に努められたい。	
3	GIGAスクール構想の推進 ○GIGAスクール構想は新たな学び方を目指す重要な課題である。その基盤を支えるシステムのメンテナンスについては常駐の担当者の配置も含めて体制の充実を望む。	
4	修学の支援等 ○少しでも多くの生徒が奨学金を受給できるようにという方向性は望ましく、周知方法を一層工夫するとともに、制度の見直し後も、公平、適正な支給により、修学の保障を継続されたい。 ○中学生にとって部活動は学校生活の大きな部分を占めている。部活動の地域移行が実施されるまで、大会やコンクール出場の支援を継続されたい。	

努力目標評価シート

学校教育課

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和4年度の取組内容)	指標		方向性	
				令和4年度実績値	令和4年度目標値		
子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	1・21	地域とともに学校・地域とともにある学校づくり  創造的で活力ある園づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>*各小中学校(園)に設置した学校運営協議会の活動を充実させ、家庭や地域と連携し、地域や社会に開かれた学校づくりを推進した。</li> <li>*学校運営協議会の運営により、保護者と地域住民等の学校運営への参画を促し、学校、保護者、地域住民が一体となって心豊かで健やかな子どもたちの育成を図った。</li> <li>*学校支援地域本部事業を推進し、学校と地域が一体となって子どもたちを育て、地域とともにある学校づくりを進めた。</li> <li>*学力向上推進事業、人権同和教育研究事業、キャリア形成事業の三事業を実施し、各小中学校長が作成する「学校マニフェスト」の実現を図った。</li> </ul>	設置者による評価値 小中学校 82.7点 幼稚園 88.0点  市民の意見を取り入れて学校改善を行っていると感じている保護者の割合:90.6%	設置者による評価値 小中学校 85.0点 幼稚園 85.0点  市民の意見を取り入れて学校改善を行っていると感じている保護者の割合:90%	継続	
	2・22	確かな学力の形成  生活体験に即し、興味や欲求を生かした適切な指導	学力向上推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>*各小中学校で学力向上アクションプランを作成し、計画・実行・評価・改善のサイクルの定着に努めた。</li> <li>*中学校1年生で標準学力検査を実施した。</li> <li>*学力向上アドバイザーを各小中学校に派遣した。</li> <li>*学力向上支援事業(市費)の充実に努めた。</li> <li>*「家庭学習・読書のすすめ」を作成し、各小中学校に配付した。</li> <li>*全国学力・学習状況調査(国費)、みえスタディ・チェック(県費)を実施した。</li> <li>*一人一台端末をはじめICT機器を効果的に活用した授業づくりに取り組んだ。</li> </ul>	全国学力・学習状況調査 市内小中学校の平均点の全国比 小学校:101.6 中学校:97.7	全国学力・学習状況調査 市内小中学校の平均点の全国比 小学校:105.0 中学校:100.0	継続
			教職員研修経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>*部会別教育研究活動の充実を図った。</li> <li>*夏季教育講演会を開催した。</li> <li>*研究指定校研究推進事業の充実を図った。(成和西小・緑ヶ丘中他4校)</li> <li>*一人一台端末を活用した授業づくりについての教職員研修を実施した。</li> </ul>	研修講座への参加人数 参加者数:1110人	研修講座への参加人数 参加者数:1,500人	継続
	3・24	人権同和教育の積極的な推進及び差別解消に取り組む実践的な人間の育成  人権同和教育の推進	人権同和教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>*伊賀市人権同和教育基本方針に基づいた研究テーマを設定し、人権・同和教育の研究と実践を行った。</li> <li>*幼稚園・小中学校全教職員で学校人権・同和教育部会を組織し、全市的に人権・同和教育の研究と推進を行った。</li> </ul>	人権・同和教育の推進(人権教育カリキュラムの見直し)を「十分図れた」「図れた」学校数:29校  学校(園)の教職員の人権のつどい・研修会・地区懇談会等参加回数:3.9回	人権・同和教育の推進(人権教育カリキュラムの見直し)を「十分図れた」「図れた」学校数:29校  学校(園)の教職員の人権のつどい・研修会・地区懇談会等参加回数:5回以上	継続
4	キャリア教育の推進	キャリア教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>*「自分発見!中学生・地域ふれあい事業」において、全10中学校で職場体験活動を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5中学校のみ実施した。実施できなかった5中学校については、その内容を補うものとして、地元の企業からゲストティーチャーを招聘したりして、将来の夢や職業、働くこと等、自分の生き方について考える活動に取り組んだ。</li> <li>*小学校段階からの教育活動全体を通じた組織的・継続的な取組を推進した。〔「キャリア・パスポート」の活用〕</li> <li>*各学校における発達段階に応じた教育課程のあり方を研究した。</li> <li>*「伊賀市キャリア教育研修会」を開催し、キャリア・パスポート実践研究から、地域に根ざした小・中・高が連携したキャリア教育の在り方について、専門家を講師にむかえ研修し、小中連携の意義を再確認した。</li> </ul>	「自分の生き方や進路を深く見つめることが出来た」と回答した生徒の割合:73.5%	「自分の生き方や進路を深く見つめることが出来た」と回答した生徒の割合:90%	継続	

努力目標評価シート

学校教育課

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和4年度の取組内容)	指 標		方向性
				令和4年度実績値	令和4年度目標値	
子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	7・23	生徒指導推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>*各学校において家庭訪問、巡視・補導、関連機関との連携・対応、捜査活動等の生徒指導活動に取り組むとともに、教育相談体制・生徒指導体制を整備し、教育相談員等と連携しながら問題行動の早期発見・早期の対応や未然防止に取り組んだ。</li> <li>*スクール・ソーシャル・ワーカーを2名配置し、学校からの要望に基づいて、家庭支援や制度利用支援を行った。</li> <li>*全小中学校で学級満足度調査(Q-U調査)を実施し、調査の方法・活用等の理解を図った。</li> <li>*全学校にいじめ問題相談員を配置し、地域においてもいじめ問題に相談できる体制を作った。</li> </ul>	小中学校における問題行動発生件数:21件	小中学校における問題行動発生件数:0件	継続
	8・28・29	不登校児童生徒支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>*伊賀市教育研究センター(ふれあい教室)で、不登校児童生徒に対する適応指導活動、児童・生徒及び保護者との教育相談活動を実施した。</li> <li>*不登校の実態把握、教育相談に関わる教職員研修を実施した。</li> </ul>	不登校児童生徒の好ましい状況変化の割合:81.6%	不登校児童生徒の好ましい状況変化の割合:100%	継続
	10	子どもたちの安全・安心の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>*教育活動サポーターの配置、自転車ヘルメットの配付、「子どもSOSの家」旗及び注意喚起看板等の購入により、児童生徒の安全を確保するように努めた。</li> </ul>	登下校中の小中学生の交通事故発生件数:9件	登下校中の小中学生の交通事故発生件数:0件	継続
	11・26	特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>*教育支援員、特別支援教育支援員を配置し、児童生徒のニーズにあった支援を行う体制を作った。</li> <li>*児童生徒の正しい理解のために専門機関による巡回相談を実施し、適切な支援につなげた。</li> </ul>	教育支援員・特別支援教育支援員配置:57人	教育支援員・特別支援教育支援員配置:50人	継続
	13	外国人児童生徒に対する教育の充実と多文化共生教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>*初期適応指導教室(チャレンジ教室)の運営を行った。</li> <li>*「外国人児童生徒と保護者のための進路ガイダンス」を実施した。</li> <li>*日本語指導者研修会の開催した。</li> <li>*外国人児童生徒日本語指導補助員を配置した。</li> <li>*日本語指導コーディネーターを派遣した。</li> <li>*外国語通訳を派遣した。</li> <li>*外国人児童生徒の学習支援(漢字検定補助)を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語指導が必要な外国人生徒の高校進学率:94.9%</li> <li>・漢字検定 外国人児童生徒の受検率:58.3%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語指導が必要な外国人生徒の高校進学率:90%</li> <li>・漢字検定 外国人児童生徒の受検率:60%</li> </ul>	継続
	14	外国語教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>*JETプログラム事業におけるALTを各中学校へ派遣した。</li> <li>*直接任用による外国語活動指導助手を各小学校への派遣した。</li> <li>*小学校外国語指導者研修会を実施した。</li> <li>*「英語力向上プロジェクト」(英語検定補助)を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校1クラスあたりのALT派遣日数:約8.9日</li> <li>・中学3年生における英語検定3級以上合格率37.1%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校1クラスあたりのALT派遣日数:約8.2日</li> <li>・中学3年生における英語検定3級以上合格率:35%</li> </ul>	継続

# 努力目標評価シート

# 学校教育課

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和4年度の取組内容)	指標		方向性
				令和4年度実績値	令和4年度目標値	
子どもたちが希望を持って、未来に夢	27 教育研究の推進充実	教育研究センター管理運営費	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 教育研究センターの管理運営を行った。</li> <li>・学校教育及び社会教育関係者の研修会等を開催した。</li> <li>・教職員、学校、地域の連携の支援に努めた。</li> </ul>	会議室使用延べ人数: 11,214人	会議室使用延べ人数: 10,800人	継続
子どもたちが、安心して学べる	20 学校給食の充実	学校給食管理事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 安心安全でおいしい学校給食を安定的に提供できるよう衛生管理や施設設備の維持管理を行った。</li> <li>* JAなどの物資納入業者と連携し、食材の確保や価格の調整を図りながら地場産品(伊賀・三重県産)を積極的に使用した。</li> <li>* コロナ禍により、児童の施設見学、生徒の職場体験の受入れについての機会が少なくなったが、栄養教諭が各学校を訪れ給食センターの業務を紹介しながら、学校給食を通して食育授業を行った。</li> <li>* 毎月発行する「給食だより」では地元食材を紹介し、伊賀市ホームページには給食の献立盛付表を掲載するなど、家庭に学校給食について紹介した。</li> <li>* 職員の食品衛生管理意識の高揚を図るため、衛生管理講習会に参加した。</li> </ul>	給食センターの地場産(県内産・伊賀産)食材使用割合(金額ベース) 65.4%	給食センターの地場産(県内産・伊賀産)食材を使用する割合(金額ベース):65%	継続

努力目標	令和4年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価に対する今後の対応
1・21 創造的で活力ある学校、地域とともにある学校づくり 創造的で活力ある園づくりの推進	<p>○コロナ禍においては学校教育活動に制限があり、学校マニフェストの実現が困難であったと思われる中、学校改善を推進したことに対する保護者評価9割以上は素晴らしい。今後とも、家庭・地域から十分な理解と協力を得て、拓かれた学校づくりに尽力して欲しい。</p>	
2・22 確かな学力の形成 生活体験に即し、興味や欲求を生かした適切な指導	<p>○全国順位や成績を意識しすぎず、外国籍児童生徒を含め、多様な背景を持つ児童生徒が等しく学力向上できるよう、IT機器の有効活用とともに指導者の授業力向上など、環境づくりに尽力されたい。</p> <p>○タブレットを活用した授業の条件整備や教育研究・研修への取り組みを評価する。使用するアプリケーションやコンテンツを常に最適、最新のものに更新する体制を整えられたい。</p> <p>○経験の浅い教員が激務で心理的、身体的に追い込まれたり、トラブルで孤立したりすることのないよう、サポート体制を引き続き促進されたい。</p>	
3・24 人権・同和教育の積極的な推進及び差別解消に取り組む実践的な人間の育成 人権・同和教育の推進	<p>○今も意識を変えずハラスメントの問題を引き起こす人たちも多量中、ハラスメントは人権意識の欠如から起こることを踏まえ、大事な課題として日常的に研修会などで取り上げてもらいたい。</p> <p>○各校(園)の人権教育カリキュラムについては、子どもたちを取り巻く環境の変化やそれに伴う価値観の推移など絶えず察知し、見直しを十分図ったうえで実践につなげて欲しい。</p>	
4 キャリア教育の推進	<p>○コロナ禍で中止となったことから職場体験活動の果たしてきた役割が再認識された。まだまだ制約はあると思われるが、状況をみながら地域の協力を得て、子どもたちが生き方を考え、社会に触れる貴重な機会である体験活動をぜひとも実施されたい。</p>	

# 努力目標評価シート

# 学校教育課

努力目標		令和4年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価に対する今後の対応
7 ・ 23	生徒指導の充実及び健全な児童生徒の育成  豊かな情操の芽生えと望ましい生活習慣の育成	○学校は子どもたちの心の変化にいち早く気づくことができる場である。早期発見早期対応により、いじめをはじめとする課題の解決に全力を注いでいただきたい。  ○現状を的確に把握した対応と問題事象をいかに心理や福祉等の専門家につなぐかというところに焦点を当てて教職員の意識共有を図っていただきたい。	
8 ・ 28 ・ 29	不登校児童生徒への理解と社会的自立に向けた支援の推進  教育相談の実施  不登校児童生徒の支援	○不登校の長期化などによって学びなおしのスタートに就こうとしている生徒や多様な進路選択を希望する生徒、さらにふれあい教室へも行けない児童・生徒に対して根気強くあたたかい支援を継続されたい。	
10	子どもたちの安全・安心の確保	○特に子どもたちの登下校中の安心安全の確保は最重要です。関係機関との連携強化や子どもSOSの家への緊急時の問題対応の定期的な周知が行われるよう留意されたい。	
11 ・ 26	特別支援教育の充実  個別の支援を要する幼児についての深い理解と実態に即した適切な指導	○就学前教育との連携をさらに充実させることにより個々の理解を深め、できる限りのニーズに応じた支援が実現されることを望む	
13	外国人児童生徒に対する教育の充実と多文化共生教育の推進	○進路ガイダンスの長年の継続努力に敬意を表する。対象児童生徒にとって有効な方法を時代の変化とともに柔軟に考えてほしい。  ○外国につながりをもつ児童生徒とともに学びあうことは、持続可能な社会の礎となる。欠くことのできないリソースである外国につながりを持つ児童生徒への様々な支援を評価する。中学校卒業後、本人の願いや日本語習得状況を十分考慮した上で、通訳を介した保護者懇談とともに適切な進路選択が実現されることを望む。	
14	外国語教育の推進	○外国語を話せる若年層がなかなか増えない現状もあり、英語を身近に感じ、英語を楽しく意欲的に学べるよう授業以外でも英語を話す機会を増やしたり、人前で英語を話すことを恥ずかしくない学習方法等、様々な角度からの取組を工夫されたい。  ○英検50%を目指すことを望む。	
20	学校給食の充実	○特に長期休業中など学校給食のありがたさを実感する。諸物価高騰の折から食材の購入等大変困難であろうが今後とも安心安全な学校給食の実施を望む。  ○環境教育の観点からも学校栄養士教諭等と子どもたちの、工夫による食品ロスの減少を今後も努められたい。	

努力目標評価シート

生涯学習課

施策	努力目標		取組事業名	事業概要 (令和4年度の取組内容)	指 標		方向性
					令和4年度実績値	令和4年度目標値	
生涯を通じ、生きがいを持ち活動できる	1	社会教育の推進	生涯学習推進事業	* 1月に20歳対象の成人式を中学校区別(9会場)で開催しました。また、令和4年4月の民法改正により成年年齢が引き下げられたため、3月に19歳対象の成人式を中学校区別(9会場)に開催しました。	参加率: 76.5%(1月) 参加率: 84.2%(3月)	参加率: 80%(1月) 参加率: 80%(3月)	継続
	2	生涯学習推進体制の充実		* 生涯学習支援員を対象とした研修や交流会を開催しました。 * 他地域の活動事例を通して情報共有を図るとともに、情報交換を行うため住民自治協議会等研修会を開催しました。	参加者数: 440名(うちオンライン参加者数: 120名)	参加者数: 450名	継続
	6	学習の機会や場の提供を図り、活動内容の充実		① 通年講座(悠々セミナー)併せて同時配信によるオンライン講座を開催しました。 ② 初めての講師サポート事業 ③ 親子体験講座 ④ 干支の春展 ⑤ 定住自立圏連携事業 ⑥ 読み聞かせボランティア入門講座	① 開催回数: 8回 参加者数: 354人 ② 開催回数: 9回 参加者数: 51人 ③ 開催回数: 4回 参加者数: 98人 ④ 参加者数: 229人 ⑤ 参加者数: 64人 ⑥ 開催回数: 2回 参加者数: 82人	① 開催回数: 8回 参加者数: 480人 ② 開催回数: 10回 参加者数: 150人 ③ 開催回数: 4回 参加者数: 80人 ④ 参加者数: 300人 ⑤ 参加者数: 50人 ⑥ 開催回数: 2回 参加者数: 120人	継続
部落差別をなくす	3	人権尊重の精神を培い、主体的に行動のできる人づくり	隣保館・児童館・教育集会所事業	* 伊賀市教育集会所小学生交流事業「みんなよっといで！」を開催しました。 * 伊賀市教育集会所高校生・青年人権学習交流会を実施した。 * 伊賀市教育集会所保護者交流会を実施しました。	参加者数: 181名	参加者数: 250名	継続
	8	人権問題啓発活動の推進	同和教育研究推進事業	* 関係機関と連絡調整を図り、人権同和教育研究・推進活動を行いました。 * 講演会、研修会、研究大会を開催しました。	参加者数: 7,416人	参加者数: 8,500人	継続
			(中央公民館) * 人権パネル展示 * 人権同和教育学習講座	開催回数: 2回 参加者数: 不明 開催回数: 3回 参加者数: 232人	開催回数: 2回 参加者数: 1500人 開催回数: 3回 参加者数: 150人	継続	
子どもや若者が、健やかに成長する	4	青少年の創造的、主体的活動の進展と健全な育成活動の推進	青少年健全育成事業	* 第15回「輝け！いがっ子フォトコンテスト」を実施し、輝け！いがっ子憲章を周知・啓発しました。 * 子どもたちに読書に親しむ機会を提供するとともに、家庭での読書活動の大切さについて啓発し、子どもの読書活動を推進しました。 * 伊賀市青少年ネットワークづくり研修会・伊賀地区こどもわかもの育成支援のための支部研修会等を開催しました。 * 青少年健全育成推進大会を開催しました。 * 伊賀市青少年育成市民会議の活動を補助し、伊賀市全域を対象とした事業および各地区の特色を生かした事業の実施を支援しました。 * 青少年非行防止活動強化月間(7月)、子ども・若者育成支援強調月間(11月)、未成年者喫煙防止キャンペーンとして青少年健全育成市内一斉活動を実施しました。	青少年健全育成推進大会参加者数: 107人	青少年健全育成推進大会参加者数: 150人	改善



# 努力目標評価シート

# 生涯学習課

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和4年度の取組内容)	指 標		方向性
				令和4年度実績値	令和4年度目標値	
子どもや若者が、健やかに成長する	4 青少年の創造的、主体的活動の進展と健全な育成活動の推進	青少年健全育成事業	* 上野児童福祉会連合会に委託し、遊び文化・生活文化・自然環境を考えること等を大切に、よりよい子ども社会構築のための事業を実施しました。	開催回数: 5回 参加者数: 560人	開催回数: 7回、 参加者数: 500人	改善
			* 上野児童福祉会連合会に委託し、郷土の産業や伝統文化・環境など、さまざまな体験を通して、「誇れるふるさと」を学習するための事業を実施しました	開催回数: 7回 参加者数: 176人	開催回数: 7回 参加者数: 140人	改善
			* 伊賀市内で4つの放課後子ども教室の支援を行いました。 * 伊賀市放課後子どもプラン施策検討委員会を開催しました。	教室1回あたりの平均利用児童数(全教室計): 8人	教室1回あたりの平均利用児童数(全教室計): 8人	継続
			* 街頭補導活動(随時補導・特別補導・協会員補導)を実施するとともに、青少年育成市民会議や各地域と連携した非行防止パトロールを実施しました。 * 電話および面談による青少年相談活動を実施するとともに、その周知に努めました。 * 環境浄化活動とし、コンビニエンスストア・書店・小売店等に、低俗な広告物・有害玩具・有害図書・不良環境の排除等への協力を依頼しました。	巡回補導活動回数: 313回	巡回補導活動回数: 310回	継続

努力目標	令和4年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価に対する今後の対応
1 社会教育の推進	○18歳の成人式を行うのは全国的に少数派であると思うので、独自の意義と意味を参加者が理解し、全国にも発信し、誇りをもって多数が参加できる企画にされたい。	
2 生涯学習推進体制の充実	○各市民センターに配属される生涯学習支援員は、地域づくり、文化活動の指導者としての自覚を持っていただくため、一層のスキルアップ推進を望む。	
6 学習の機会や場の提供を図り、活動内容の充実	○「子供読書実践活動」の事業に一層の協力体制を強化されることを望む。	
7 人権同和教育の推進	○最近特に取り上げられるLGBTQや外国人、障がい者に対する差別意識、偏見なども、依然社会全般に根強く存在する。今後も広報、研修、学習の機会の拡充継続を望む。	
4 青少年の創造的、主体的活動の進展と健全な育成活動の推進	○青少年健全育成団体の活動が衰退しないように、指導・支援に努められたい。 ○子育て世代にとって日常の負担が軽減され、子どもの健全な居場所が多くなるよう今後も努力されたい。 ○放課後子ども教室の諸課題を整理し子どもたちにとって最善の方策の検討を進められたい。	

努力目標評価シート

教育集会所

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和4年度の取組内容)	指標		方向性
				令和4年度実績値	令和4年度目標値	
部落差別をなくす	9 人権同和教育の推進	隣保館・児童館・教育集会所事業	* 地域ぐるみの同和教育総合実践活動事業 (崇広中学校区ヒューマンフェスタ)	(八幡町教育集会所) 開催回数:0回 参加者数:0人	(八幡町教育集会所) 開催回数:1回 参加者数:2,000人	継続
			* 上野南中学校区小学校3・4・5・6年生人権学習会	(下郡教育集会所) 開催回数:10回 参加者数:137人	(下郡教育集会所) 開催回数:10回 参加者数:200人	継続
			* 人権同和教育相談事業 保護者や地域住民、保育士・教職員等からの人権同和教育や子育て相談等の機会として開設し、対応した。	(寺田教育集会所) 開催回数:11回 参加者数:11人	(寺田教育集会所) 開催回数:11回 参加者数:10人	継続
			* 『中瀬ふれあい夏祭り』『人権トーク&コンサート』 『中瀬ふれあい夏祭り』の場で、市民への人権同和教育並びに人権啓発の推進を目的として、「人権トーク&コンサート」の開催を計画していたが、「新型コロナウイルス感染症」対策として、『夏祭り』の開催が『中止』された。 * フィールドワーク 教職員や保育士、他地域等からの要望に応じて、歴史資料等を用いて差別の実態や部落解放運動の歴史を学ぶとともに、フィールドワークを実施した。差別の厳しさや行動を起こす大切さを五感で学ぶ中での人権意識の高揚をめざした。 * 小・中人権同和教育講演会 中瀬小学校PTA・城東中学校PTAと共催し、児童・生徒・教職員・保護者・地域住民等を対象にした、人権コンサート(中瀬小学校)・人権講演会(城東中学校)を開催した。	(寺田教育集会所) 開催回数:8回 参加者数:689人 (『中瀬ふれあい夏祭り』は開催『中止』)	(寺田教育集会所) 開催回数:6回 参加者数:1,200人	継続
			* 城東中学校区小学校3・6年生人権学習会 * 城東中学校1年生人権学習会 城東中学校区小学校3・6年生、城東中学校1年生の人権・部落問題学習の中で教育集会所・市民館見学に対応し、人権学習会を実施した。	(寺田教育集会所) 開催回数:11回 参加者数:695人	(寺田教育集会所) 開催回数:11回 参加者数:500人	継続
			* 寺田教育を考える母(保護者)の会 部落差別に負けない、部落差別を許さない子どもの育成をめざし、保護者同士のつながりを深めるため、保育士・教職員等を交えての懇談会や人権・部落問題学習会を実施した。また、『寺田文化祭』等の教育集会所・市民館事業に参画した。 * 保小中高連絡会 保・小・中・高の保育士・教職員等と寺田教育集会所が、地区園児・児童・生徒の現状・課題等を共有し、共通認識を持つため、月1回程度、連絡会を開催した。 * 中瀬城東保育園・支部・教集三者懇談会 * 中瀬小学校・支部・教集三者懇談会 * 城東中学校・支部・教集三者懇談会 地域内の保育園・小学校・中学校と部落解放同盟寺田支部、寺田教育集会所の三者が、地区園児・児童・生徒の現状・課題等を共有し、共通認識を持つため、それぞれ、年度当初と年度末の2回、懇談会を開催した。	(寺田教育集会所) 開催回数:28回 参加者数:455人	(寺田教育集会所) 開催回数:30回 参加者数:400人	継続
			* 伊賀地区校区連絡会議	(まきがわ教育集会所) 開催回数:9回 参加者数:109人	(まきがわ教育集会所) 開催回数:10回 参加者数:130人	継続
			* 大山田保育園解放保育懇談会 * 大山田小学校教育懇談会 * 大山田中学校教育懇談会	(奥馬野教育集会所) 開催回数:4回 参加者数:104人	(奥馬野教育集会所) 開催回数:4回 参加者数:104人	継続
			* 青山学校同和教育推進委員会(事務局会)	(老川教育集会所) 開催数:年9回 延べ参加者数:90人	(老川教育集会所) 開催数:年11回 延べ参加者数:110人	継続
			* 保小中同和教育実践交流会(保幼小中交流会、全体研修会、新転入教職員研修会、夏期研修会)	(老川教育集会所) 開催数:年8回 延べ参加者数:182人	(老川教育集会所) 開催数:年9回 延べ参加者数:180人	継続
* 推進委員会(実践集録検討会議) * 実践報告書(実践集録)発刊 * 推進委員会だより(かわせみ)発行	(老川教育集会所) 開催数:年1回 参加者数:7人 発行:年1回 発行:年3回	(老川教育集会所) 開催数:年1回、参加者数:5人 発行:年1回 発行:年3回	継続			

努力目標評価シート

教育集会所

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和4年度の取組内容)	指 標		方向性
				令和4年度実績値	令和4年度目標値	
部落差別をなくす	9 人権同和教育の推進	隣保館・児童館・教育集会所事業	* 生活講座、識字教室	(八幡町教育集会所) 識字教室 開催回数: 47回 参加者数: 177人	(八幡町教育集会所) 識字教室 開催回数: 46回 参加者数: 280人	継続
				(まえがわ教育集会所) 開催回数: 99回 参加者数: 1,030人	(まえがわ教育集会所) 開催回数: 90回 参加者数: 1,000人	継続
				(奥馬野教育集会所) 開催回数: 22回 参加者数: 190人	(奥馬野教育集会所) 開催回数: 37回 参加者数: 270人	継続
				(老川教育集会所) ・生活講座 開催数: 年25回 延べ参加者数145人 ・識字教室 開催数: 年23回 延べ参加者数: 94人 ・パソコン教室 開催数: 年23回 延べ参加者数102人	(老川教育集会所) ・生活講座 開催数: 年20回 延べ参加者数110人 ・識字教室 開催数: 年20回 延べ参加者数110人 ・パソコン教室 開催数: 年20回 延べ参加者数110人	継続
			* 小学生地区学習会 地域の人々のくらしや歴史等を学び、差別を見抜き、なくしていくことのできる、人権感覚の豊かな子どもの育成を図るとともに、差別をなくす仲間づくりを進めた。 また、小学校の長期休業期間中には、学力保障や差別をなくす仲間づくりを進めるため、子ども教室を開催し、学習会や各種体験教室等を実施した。	(八幡町教育集会所) 小学生地区学習会 開催回数: 24回 参加者数: 658人	(八幡町教育集会所) 小学生地区学習会 開催回数: 32回 参加者数: 900人	継続
				(寺田教育集会所) 小学生地区学習会 開催回数: 32回 参加者数: 356人 (寺田教科学習会) 開催回数: 28回 参加者数: 122人 (寺田小学生春・夏・冬休み子ども教室) 開催回数: 18回 参加者数: 54人	(寺田教育集会所) 小学生地区学習会 開催回数: 30回 参加者数: 420人 (寺田教科学習会) 開催回数: 30回 参加者数: 180人 (寺田小学生春・夏・冬休み子ども教室) 開催回数: 65回 参加者数: 390人	継続
				(下郡教育集会所) 小学生地区学習会 開催回数: 30回 参加者数: 426人	(下郡教育集会所) 小学生地区学習会 開催回数: 30回 参加者数: 350人	継続
				(まえがわ教育集会所) 小学生地区学習会 開催回数: 32回 参加者数: 952人	(まえがわ教育集会所) 小学生地区学習会 開催回数: 40回 参加者数: 720人	継続
				(奥馬野教育集会所) 小学生地区学習会 開催回数: 23回 参加者数: 840人 (ライトピア子ども会) 開催回数: 6回 参加者数: 23人	(奥馬野教育集会所) 小学生地区学習会 開催回数: 30回 参加者数: 800人 (ライトピア子ども会) 開催回数: 10回 参加者数: 120人	継続

努力目標評価シート

教育集会所

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和4年度の取組内容)	指 標		方向性
				令和4年度実績値	令和4年度目標値	
部落差別をなくす	9 人権同和教育の推進	隣保館・児童館・教育集会所事業	* 中学生地区学習会、高校生・青年友の会 地域の人々のくらしや歴史等を学び、差別を見抜き、なくしていくことのできる、人権感覚の豊かな子どもの育成を図るとともに、差別をなくす仲間づくりを進めた。	(八幡町教育集会所) 中学生地区学習会 開催回数: 35回 参加者数: 315人	(八幡町教育集会所) 中学生地区学習会 開催回数: 36回 参加者数: 440人	継続
				(下郡教育集会所) 中学生地区学習会 開催回数: 16回 参加者数: 134人 (下郡高校生友の会) 開催回数: 12回 参加者数: 0人	(下郡教育集会所) 中学生地区学習会 開催回数: 30回 参加者数: 330人 (下郡高校生友の会) 開催回数: 12回 参加者数: 36人	継続
				(寺田教育集会所) 中学生地区学習会 開催回数: 37回 参加者数: 401人 (寺田教科学習会) 開催回数: 37回 参加者数: 350人 (寺田高校生友の会) 開催回数: 11回 参加者数: 62人 (寺田小中高合同地区学習会) 開催回数: 3回 参加者数: 64人	(寺田教育集会所) 中学生地区学習会 開催回数: 35回 参加者数: 420人 (寺田教科学習会) 開催回数: 40回 参加者数: 480人 (寺田高校生友の会) 開催回数: 15回 参加者数: 70人 (寺田小中高合同地区学習会) 開催回数: 2回 参加者数: 100人	継続
				(まえばわ教育集会所) 中学生地区学習会 開催回数: 30回 参加者数: 754人 (前川・わかもの&スクラム) 開催回数: 3回 参加者数: 83人	(まえばわ教育集会所) 中学生地区学習会 開催回数: 30回 参加者数: 1,000人 (前川・わかもの&スクラム) 開催回数: 3回 参加者数: 80人	継続
				(奥馬野教育集会所) 中学生地区学習会 開催回数: 23回 参加者数: 285人 (奥馬野教育集会所) 中高生学習会 開催回数: 6回 参加者数: 63人	(奥馬野教育集会所) 中学生地区学習会 開催回数: 30回 参加者数: 600人 (奥馬野教育集会所) 中高生学習会 開催回数: 8回 参加者数: 60人	継続
			* 人権教育講演会、学習会	(八幡町教育集会所) 開催回数: 3回 参加者数: 90人(八幡) 開催中止	(八幡町教育集会所) 開催回数: 2回 参加者数: 100人	継続
			(下郡教育集会所) 人権と平和学習会 :未実施  (依那古草の根会議) 開催回数: 1回 参加者数: 44人 (上野南中学校区学習会) 開催回数: 1回 参加者数: 40人 (高齢者人権教養講座) 開催回数: 0回 参加者数: 0人	(下郡教育集会所) 人権と平和学習会 開催回数: 2回 参加者数: 130人 (依那古草の根会議) 開催回数: 1回 参加者数: 100人 (上野南中学校区学習会) 開催回数: 1回 参加者数: 70人 (高齢者人権教養講座) 開催回数: 1回 参加者数: 60人	継続	
			(まえばわ教育集会所) 未実施(前川・特別解放講座) 開催回数: 0回 参加者数: 0人	(まえばわ教育集会所) 開催回数: 1回(特別解放講座) 参加者数: 100人	継続	
(老川教育集会所) 開催数: 年2回 延べ参加者数: 37人	(老川教育集会所) 開催数: 年3回 延べ参加者数: 200人	継続				

# 努力目標評価シート

# 教育集会所

努力目標	令和4年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価に対する今後の対応
<p>9 人権同和教育の推進</p>	<p>○(教育集会所事業全般) 教育集会所は、人権の大切さを学ぶ地区学習会が実施され、教科学習や教育相談を受け止めるてもらえる子どもたちの居場所である。また、高校生や青年が集い、生き方を語り合い行動に移す力をつける場として果たす役割が非常に大きい。ますますの充実を望む。差別をなくす仲間づくりの支援とリーダーの育成に今後も努められたい。</p> <p>○(教育集会所事業全般) 教育集会所における差別をなくす仲間づくりの支援とリーダーの育成に今後も努められたい。</p> <p>○崇広中学校区ヒューマンフェスタの中止期間に学校統合もあり、校区内の組織にも変化が生じている。地域住民が顔をあわせ、交流しながら人権同和教育と一緒に考える機会として、“地域ぐるみ”を実感できるヒューマンフェスタの開催を望む。</p> <p>○中瀬ふれあい夏祭りが、今後も地域に定着した行事を通じて、各世代に人権に関する意識が一層深まっていくことを期待したい。</p>	

努力目標評価シート

文化財課

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和4年度の取組内容)	指標		方向性
				令和4年度実績値	令和4年度目標値	
歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	1 文化財の調査・指定及び活用の推進	文化財保存経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 文化財保護審議会(2回)、市指定有形文化財旧上野市庁舎保存活用計画策定検討委員会(1回)を開催し、文化財指定の審議や旧上野市庁舎の保存・活用の検討を行った。</li> <li>* 指定文化財の調査・管理を実施した。(51件)</li> <li>* 指定文化財の説明看板を1基(中柘植:伊賀のカンジョウナワ行事)設置、西盛寺文化財看板(1基)の修繕を実施した。</li> <li>* 文化財年報を発行(300冊)するとともに、書籍『伊賀市の文化財』を販売し、文化財の啓発に努めた。</li> </ul>	指定文化財の調査管理:51件	指定文化財の調査管理:50件	継続
		文化財施設維持管理経費 大山田郷土資料館維持管理経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 直営1館、指定管理4館の文化財施設を適切に維持管理し、入館者を増やすよう啓発した。</li> </ul>	入館者数: 13.02人/日	入館者数: 10人/日	継続
		歴史的風致維持向上計画進捗管理事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 伊賀市歴史的風致維持向上計画に基づき、法定協議会(2回)、庁内会議(1回)を開き、歴史まちづくりを進めた。</li> <li>* 重点区域の一つ、大和街道島ヶ原宿について、啓発用パンフレット(1000部)の印刷と街道案内看板(1基)を設置した。</li> </ul>	計画進捗率:42%	計画進捗率:45%	継続
		伊賀市文化財保存活用地域計画作成事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 庁内検討会議(3回)及び協議会(3回)の開催、中間案のパブリックコメントの実施により、文化財保存活用地域計画最終案を作成した。</li> </ul>	計画進捗率:90%	計画進捗率:80%	継続
2・3 有形文化財の保護・保存 民俗文化財の保護・保存	民俗文化財の保護・保存	文化財保存事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 国重要無形民俗文化財 上野天神祭のダンジリ行事の民俗文化財伝承・活用等事業及び同行事の保存管理事業を指導・助言・監督した。</li> </ul>	事業進捗率:33%	事業進捗率:33%	継続
			<ul style="list-style-type: none"> <li>* 県指定文化財春日神社拝殿の解体修理事業(組立工事・補修工事)を助言・指導・監督した。</li> </ul>	工事進捗率100%	工事進捗率100%	完了
			<ul style="list-style-type: none"> <li>* 国重要文化財観音提寺本堂・楼門の防災・耐震対策重点強化(防災施設等)事業を助言・指導・監督した。</li> </ul>	工事進捗率100%	工事進捗率100%	完了
4	記念物(史跡・名勝・天然記念物)の保護・保存	国史跡伊賀国庁跡保存整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 史跡公園としての整備を図るため、史跡伊賀国庁跡保存整備事業指導委員会(2回)を開催し、指導・助言を得ながら保存整備工事を実施した。</li> </ul>	史跡整備進捗率:62%	史跡整備進捗率:60%	継続
		文化財保存経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 国史跡上野城の高石垣で定点測量を実施し、高さや位置の変化を観察した。</li> </ul>	測量実施地点数: 8地点	測量実施地点数: 8地点	継続
			<ul style="list-style-type: none"> <li>* 伊賀国庁跡、伊賀国分寺跡、御墓山古墳、史跡上野城跡の草刈り等を行い環境整備に努めた。</li> <li>* 県指定天然記念物ノハナショウブ群落管理業務を実施した。</li> <li>* 国特別天然記念物オオサンショウウオの保護に努めた。</li> </ul>	環境整備面積: 延150,488㎡ 保護件数:3件	環境整備面積: 延75,000㎡ 保護件数:5件	継続
5	埋蔵文化財の保護と活用	民間等受託発掘調査経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 対象となる民間・公共の開発事業に対し協議を進め、適宜試掘調査・立会調査を行った。</li> </ul>	発掘調査件数:0件 試掘調査件数:2件 立会調査件数:26件	発掘調査件数:1件 試掘調査件数:5件 立会調査件数:10件	継続

努力目標評価シート

文化財課

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和4年度の取組内容)	指標		方向性
				令和4年度実績値	令和4年度目標値	
未 歴 来 史 へ と 文 化 財 の 継 承 を 守 り、	6 文化財や歴史に関する諸資料の収集・保存及び活用	歴史資料保存管理経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 市民からの依頼で歴史資料17件を調査、収集し、目録を15件作成した。</li> <li>* 『広報いが市』に「伊賀の歴史余話」(6回)を掲載した。</li> <li>* 受贈した歴史資料を用いて本庁舎や上野図書館で企画展示を行い、市公式YouTubeチャンネルに資料映像を公開した。</li> <li>* 収集・保管する歴史資料について93件の利用申請があり、資料に対するレファレンスや複写資料の提供を行った。</li> </ul>	目録作成件数:15件	目録作成件数:10件	継続

努力目標	令和4年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価に対する今後の対応
1 文化財の調査・指定及び活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指定管理4館の来場者数が増加したことは取り組みの成果といえる。直営の大山田郷土資料館についても、市内で唯一民俗資料を観覧できる施設として、学校教育との連携も含めて活用のための条件整備を続けられたい。</li> </ul>	
4 記念物(史跡・名勝天然記念物)の保護・保存	<ul style="list-style-type: none"> <li>○上野城高石垣の過去長年の地道な調査や整備努力に敬意を表し、今後も着実な修繕、維持管理に期待したい。</li> <li>○国分寺跡の公園の整備は大駐車場を挟んで文化会館施設などのコラボ、融合利用を促進するよう、市民の憩いの場として、良いアイデアを取り入れた整備を期待したい</li> </ul>	
6 文化財や歴史に関する諸資料の収集・保存及び活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歴史資料の魅力発信の努力を評価する。旧町村が設立した郷土資料館の資料の整備と総合的な再活用、展示の検討を含めて、様々な形での利用が増えるよう、今後も収集、管理、紹介に努めていただきたい。</li> <li>○市民に文化財や歴史に親しむイベント等を積極的に取り組まれたい。</li> </ul>	

努力目標評価シート

図書館

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和4年度の取組内容)	指標		方向性
				令和4年度実績値	令和4年度目標値	
生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	1	市民の学習活動の支援 図書館管理経費 図書室管理運営経費 図書館の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>*市民の生涯学習の場として、蔵書や資料の充実、提供に努めた。</li> <li>*「夜のとしよかん探検」事業や小学校の施設見学などを通じて、図書館と本を身近に感じてもらい、読書に親しむ機会づくりを行った。</li> <li>*岸宏子氏生誕100周年記念事業や元永定正氏生誕100周年記念事業と連携した中での作品特設コーナーの設置や、忍者月間における「忍者図書館」と題した忍者関連図書特集コーナーの設置や企画展示などの実施により利用促進に繋げた。</li> </ul>	貸出利用者数 計76,155人	貸出利用者数 計79,500人	充実
				上野: 63,613人	上野: 67,000人	
				いがまち: 2,954人	いがまち: 2,800人	
				島ヶ原: 570人	島ヶ原: 400人	
				阿山: 2,164人	阿山: 2,500人	
				大山田: 2,777人	大山田: 2,800人	
			青山: 4,077人	青山: 4,000人		
	2	読書の貸出	<ul style="list-style-type: none"> <li>*広報いがや文字放送、図書館(室)だよりで、新着図書等の紹介、催し物等開催の情報発信を行い、利用促進に繋げた。</li> <li>*図書館・図書室間の配送サービスや三重県立図書館等との相互貸借により利便性の向上を行った。</li> <li>*地域の特性を活かした図書館(室)運営を行い、身近な図書室ならではの読書活動推進に取り組んだ。</li> <li>*校園長会などを通じて団体貸出のPRを行うとともに、市内小中学校へのセット文庫の定期配送貸出を行い、学校図書館との連携・支援を行った。</li> <li>*上野点字図書館と連携し、活字での読書が困難な方への録音図書の取次貸出等に取り組んだ。</li> </ul>	貸出冊数計 289,325冊 (内児童書 131,031冊)	貸出冊数計 303,800冊 (うち児童書 129,100冊)	充実
			上野: 245,356冊 (内児童書106,142)	上野: 261,000冊 (うち児童書107,000冊)		
			いがまち: 9,627冊 (内児童書5,296冊)	いがまち: 10,000冊 (うち児童書5,600冊)		
			島ヶ原: 1,164冊 (内児童書599冊)	島ヶ原: 800冊 (うち児童書400冊)		
			阿山: 8,195冊 (内児童書4,506冊)	阿山: 10,000冊 (うち児童書5,500冊)		
			大山田: 10,056冊 (内児童書6,684冊)	大山田: 11,000冊 (うち児童書5,600冊)		
			青山: 14,927冊 (内児童書7,804冊)	青山: 11,000冊 (うち児童書5,000冊)		
		図書配送サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>*週3回の配送サービスの実施により、利便性の向上に繋げた。</li> <li>*上野図書館の準新刊など蔵書の一部を各図書室に配置し、利用促進に取り組んだ。</li> <li>*市内小・中学校へのセット文庫の定期配送貸出を行い、学校図書館の蔵書とは違った本を届けることで本に興味を持ってもらうなど、児童・生徒の読書活動の普及に取り組んだ。</li> </ul>	配送書籍数計 23,502冊	配送書籍冊数計 22,400冊	充実
			上野: 9,104冊	上野: 8,000冊		
			いがまち: 3,380冊	いがまち: 4,000冊		
			島ヶ原: 850冊	島ヶ原: 800冊		
			阿山: 2,832冊	阿山: 3,100冊		
			大山田: 3,273冊	大山田: 4,000冊		
			青山: 4,063冊	青山: 2,500冊		
	3	読書活動の支援と充実 読み聞かせ会等の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>*各読み聞かせボランティア団体の協力による絵本や紙芝居の読み聞かせ会の実施により、子どもが本に親しむ機会づくりに繋げた。</li> <li>*小学校でのブックトーク等の実施により児童の読書推進の環境づくりに努めた。</li> <li>*多言語でのおはなし会を開催し、さまざまな国の言葉で絵本を聞き、楽しむ中で、異文化理解やコミュニケーション能力を養う機会づくりに繋げた。</li> </ul>	開催数計 111回	開催数計 142回	充実
			上野: 56回	上野: 60回		
			いがまち: 7回	いがまち: 25回		
			島ヶ原: 0回	島ヶ原: 21回		
			阿山: 12回	阿山: 12回		
			大山田: 24回	大山田: 12回		
			青山: 12回	青山: 12回		



# 努力目標評価シート

# 図書館

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和4年度の取組内容)	指標		方向性	
				令和4年度実績値	令和4年度目標値		
生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	3	読書活動の支援と充実	特集コーナーの設置 *「読書週間」、「差別をなくす強調月間」、などの取り組み期間や「世界自閉症デー」や時事議歩などに関連する特集コーナーを設置し、利用促進に繋げた。 *上野図書館が所蔵する貴重資料の企画展示を行い、郷土の魅力や歴史の周知に努めた。	特集実施数計 138回 上野:55回 いがまち:12回 島ヶ原:5回 阿山:34回 大山田:20回 青山:12回	特集実施数計 119回 上野:50回 いがまち:12回 島ヶ原:13回 阿山:12回 大山田:20回 青山:12回	充実	
		読書感想文コンクールによる読書活動啓発事業	*第18回読書感想文コンクールを実施し、読書活動の推進を行った。	応募数:167点	応募数:330点	充実	
	4	資料の収集と活用の推進	資料の収集と活用	*市民からのリクエスト等を参考に司書が選書した図書を購入し、資料の充実に努めた。 *上野図書館の所蔵資料を含む伊賀市にある貴重資料の一部をデジタル化しインターネット上に公開している「デジタルミュージアム 秘蔵の国 伊賀」の郷土教育への更なる活用を進めるため、郷土教育担当教諭を対象とした研修会を実施し、利用促進に取り組んだ。 *保存期限を過ぎた雑誌や、不用になった図書をリユースフェアで市民に還元するとともに、一定期間を経た各図書室のリユース本の図書室間の交換配置を行い、利用促進に取り組んだ。	図書購入冊数 計5,031冊 上野:4,800冊 いがまち:52冊 島ヶ原:15冊 阿山:49冊 大山田:59冊 青山:56冊	図書購入冊数 計5,420冊 上野:5,000冊 いがまち:100冊 島ヶ原:20冊 阿山:100冊 大山田:100冊 青山:100冊	充実

努力目標	令和4年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価に対する今後の対応
1	市民の学習活動の支援	<p>○現在の限られたスペースの中で、WEBの充実や新刊購入、独自の工夫による企画などに努力を重ねていることに感謝したい。今後も行政における図書館サービスの必要性を認識いただき、広く市民にサービスが行き渡るよう、市民、スタッフからの良いアイデアを取り入れ企画運営を続けられたい。</p>
2	利用者サービスの充実	<p>○学校教育との連携を進めるとの方向性を支持する。司書教諭等の業務をレファレンスや課題解決などで支援できるよう、学校図書館関係者との問題意識の共有に努められたい。</p> <p>○分室の新刊等の購入数減にもかかわらず、利用者の貸出、配送数維持を評価する。本館の準新刊の移管、希望本の移管コーナー設置の継続を望む。</p>
3	読書活動の支援と充実	<p>○コロナ禍、感染対策等を行いながら、本の貸出返却に行く時間、現場での実施の努力を評価したい。</p> <p>○市内の読み聞かせボランティア団体の一グループが、永年の活動により2023年「子供読書活動優秀実践校・図書館団体(個人)」で、文部科学大臣表彰を受けたことは、日々の活動努力として評価したい。</p> <p>○子どもたちが身近に本に親しむ機会の充実のためには、読み聞かせボランティア団体の存在は大きなものがあると感じる。育成・支援を一層お願いしたい</p> <p>○市民が図書館に行っていたことや関心を持ってもらうためには、企画展示が重要と感じる。一層の充実を望む。</p> <p>○読書感想文コンクールは重要に思う。学校と応募者数を増やす方策の検討を望む。</p>
4	資料の収集と活用の推進	<p>○デジタルアーカイブの学校教育での活用に向けた努力を評価する。学校教育との連携に引き続き取り組まれたい。</p> <p>○上野図書館各分室の予算枠で購入する中、より一層の新刊充実を図られたい。分室の新刊の複本充実も望む。</p>